

斑点米カメムシ類多い！ 7月上旬までに草刈りを！！

6月下旬の水田周辺雑草地における斑点米カメムシ類の生息密度は、平年、前年より非常に多く、特にカスミカメムシ類の発生が多くなっています。また、平年より早く、すでに水田内への侵入もみられています。斑点米カメムシ類の増殖を抑えるため、7月上旬までに水田周辺雑草の除草を徹底しましょう。

1 発生状況

- 6月下旬の県内30地点の水田周辺雑草地におけるすくいとり調査（50回振り）では、1調査地点あたり56.3頭で、平年10.3頭、前年15.7頭より多い。とくに、アカスジカスミカメやアカヒゲホソミドリカスミカメが多い。
- 平年より早く、すでに水田内に侵入しているところもあり、今後はイネの出穂とともに水田内の生息数が多くなると予想される。
- カメムシ類が好むイネ科雑草のメヒシバは、平年より早くすでに出穂しており、カメムシ類の増殖に好適である。

2 防除対策

- 斑点米カメムシ類は、イネ科雑草で増殖するため、必ず水田周辺の雑草を除去する。
- 畦畔等の草刈りは、7月上旬までに行う。（県下一斉草刈りデーは7月4、5日）
- オオムギ跡は、雑草が伸び、カメムシ類の増殖地となるため、浅く耕起するかモア等で除草する。
- 出穂期頃の草刈りは、カメムシ類の水田内への侵入を助長するので行わない。
- ヒエ等の水田内の雑草は、カメムシ類の本田侵入を助長するので、除草を徹底する。



アカヒゲホソミドリ
カスミカメ成虫



アカスジカスミカメ成虫



ホソハリカメムシ成虫

☆最新の農薬登録情報 (<http://www.acis.famic.go.jp/search/vtllg301.do>) を確認して下さい